



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。 本年もよろしくお願いいたします。

### 新しい挑戦と共にさらなる成長

皆さまには健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は在宅総合センターに賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

2024年の前半にも介護老人保健施設アルカディアでは新型コロナの流行がありました。その際は、入所者の受け入れの調整や面会制限、イベントの中止などにご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

2025年は巳の年です。「脱皮して以て大蛇と成る」とありますが、私たち職員一同は新しい挑戦とともにさらなる成長をするために努力していく所存です。昨年同様、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

在宅総合センター長 古謝 早苗

### 未来を支える医療・保健・福祉へ、 新たな一歩を

昨年は新病院への移転開院で職員一同慌ただしい一年でしたが、利用者や地域の皆様には、ご支援とご協力いただき心より感謝申し上げます。

本年は、団塊の世代800万人が75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」の年に突入しました。5人に1人が75歳以上という超高齢化社会を迎え、医療・介護での最大の課題は人材不足で、今後さらに足りない状況が続くことが予測されます。それが長時間労働を引き起こし、休職や離職につながるため、これまで以上に職務環境や職務条件が重要になり、当法人の理念の一つである「働き甲斐のある職場」の構築が必要になります。これらの諸問題に対処し、地域の皆様に信頼され、ご満足いただける医療・保健・福祉のサービスを提供できるよう職員一丸となって取り組んでまいります。

この新しい年が皆様にとってより良き年になるよう心よりお祈り申し上げます。

理事長 銘苅 晋

### 浦添総合病院、新たな未来へ 地域と職員に寄り添い続ける医療を

浦添総合病院が新築移転して約1年が経過しました。昨年は、新病院にてDX推進、残業削減計画等が奏功し、職員の残業時間等も徐々に減少しました。「うちな健康経営宣言！、NO-残業デイの推進」等を行い、職員が健康で楽しく生きがいをもって仕事ができる職場環境への改善が進んでいます。

昨年度から開始された「医師の働き方改革、診療報酬改定」等、コロナ禍でダメージを受けた医療界にとって改善しなければならないことが多くあります。

2025年は、さらなる医療提供体制の充実、「患者さんのために、地域のために、職員のために」を職員が一人一人心にきざみながら、より多くの患者さんに最良の医療を提供していきたいと思えます。

そして「信頼され愛される病院、選ばれる病院」となり続けるためにスタッフ一同精進してまいります。

浦添総合病院病院長 伊志嶺 朝成

### 健診センター Vision2035 に向けて

「団塊の世代、約800万人が満75歳を迎え、後期高齢者となる。」2025年元旦を迎えました。浦添総合病院健診センターはVision2035を掲げ、個人の健康医療情報PHR(personal health record)の利活用を促進し、企業の健康経営に寄与できる体制作りに取り掛かりろうとしております。2025年以降、さらに進展する人口減少と、高齢化に備え、個人の健康寿命の延伸が社会の労働生産性の向上につながることを期待し、地域のヘルスケアを支える一施設としての我々の使命を一步一步着実に体現して参ります。

浦添総合病院健診センター院長 福本 泰三

# 45周年 History

SINCE 1979  
JINAIKAI

地域のニーズを満たす保健・医療・福祉をめざして



創業者  
宮城 敏夫

当病院の設立の動機になったのは、設立の2年前の1977年に当時、県立那覇病院外科医だった創業者の宮城敏夫が、主治医として診療に当たった患者(ガンで死亡)の家族から「患者の希望に添える病院を作ってみませんか」という訴えとも、アドバイスともつかぬ、「熱心なすすめ」を受けたことにはじまる。

※創立10周年記念誌より抜粋

開院後、その年に病床数も130床から154床に増床となった。1983年10月には170床が稼働し、当初の計画通り、名実とも総合病院として機能するようになる。



「経営戦略」で第2期工事、病床数も170床から302床へ拡充。1989年には健診センター独立棟としてオープン。



健診センターを新築移転

2009年10月1日、沖縄県知事より社会医療法人の許可を受ける。県内では3か所目となり、救急医療の要件を満たし、認可を取得。



理事長  
銘苅 晋

2023年12月浦添市前田に新病院を開院しました。高度急性期医療や救急医療を強化し、スマートベッドシステムなどITを導入し、さらに快適な療養環境も整備しました。今後とも地域の皆様に信頼され、ご満足のいただける医療、保健、福祉のサービスを提供できるよう職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新型コロナウイルス感染者受け入れ

医療法人仁愛会を設立

1979



浦添総合病院へ名称変更

1982



二期計画(増改築工事)

1988



ヘリ患者移送事業開始(U-PITS)

2005



社会医療法人の許可を受ける

2009



理事長交代

2020



1981

沖縄浦添病院として開院



当法人は1979年12月25日先代の宮城敏夫理事長が中心になり仁愛会を設立しました。その2年後の1981年4月7日沖縄浦添病院として職員総勢86人(医師12人)で開院し、事業をスタートさせています。その後も健診センターや介護老人保健施設アルカディアの開設などの事業を展開してきました。2024年12月には法人創立45周年を迎え、現在は約1300人の職員が働いています。

1984

救急病院に指定



1997

介護老人保健施設アルカディア開設



1988年には、新たな時代のニーズに応えるべく「ヘルスケア部」を新設。1998年に「在宅総合センター」を設立し、医療と介護の充実を図ってきた。

2008

もこもこ保育園開園



沖縄県ドクターヘリ運航開始



2012

ドクターカー始動



現在では2台のドクターカーを運用しており、そのうち1台は「動く診療室」として、生体情報モニター・除細動器・人工呼吸器・超音波診断装置などの生命維持医療機器を搭載。

2023

浦添市前田に浦添総合病院を新築移転





安心をつなぐ  
かけはし

## 患者総合支援センター

2023年12月、新病院への移転と同時に「患者総合支援センター」が開設されました。このセンターは、患者支援と地域連携に関する機能を集約し、患者サービスの向上と地域医療機関とのさらなる連携強化を目的としています。看護師、薬剤師、管理栄養士、相談員など、多職種が一丸となり、入院前の準備から入院中のケア、退院後のフォローアップに至るまで、切れ目のないサポートを提供します。

また、患者さんやご家族のさまざまな悩みや不安に応える相談窓口としての機能も充実。さらに、地域のクリニックの先生方と密接に連携し、互いに紹介・逆紹介を行うことで、入院の受け入れ調整を円滑に進めるとともに、退院後も継続して療養生活を送れるようサポート体制を整えています。患者さんにとって、安心と信頼を実感できる医療の実現を目指しています。



患者さんが退院後も安心して自分らしい生活を送れるよう、医療から生活支援までを包括的にカバーする充実したサポート体制を構築しています。

患者総合支援センターの内部をイラストで紹介します



### 地域連携

地域の医療機関との連携により専門的治療を迅速に受けることができるよう「自院と他院・他施設をつなぐ」コーディネート役の役割を担っています。



### 診療費相談室

医療費や生活費など経済的な相談をこちらで受け付けています。

### 身体測定

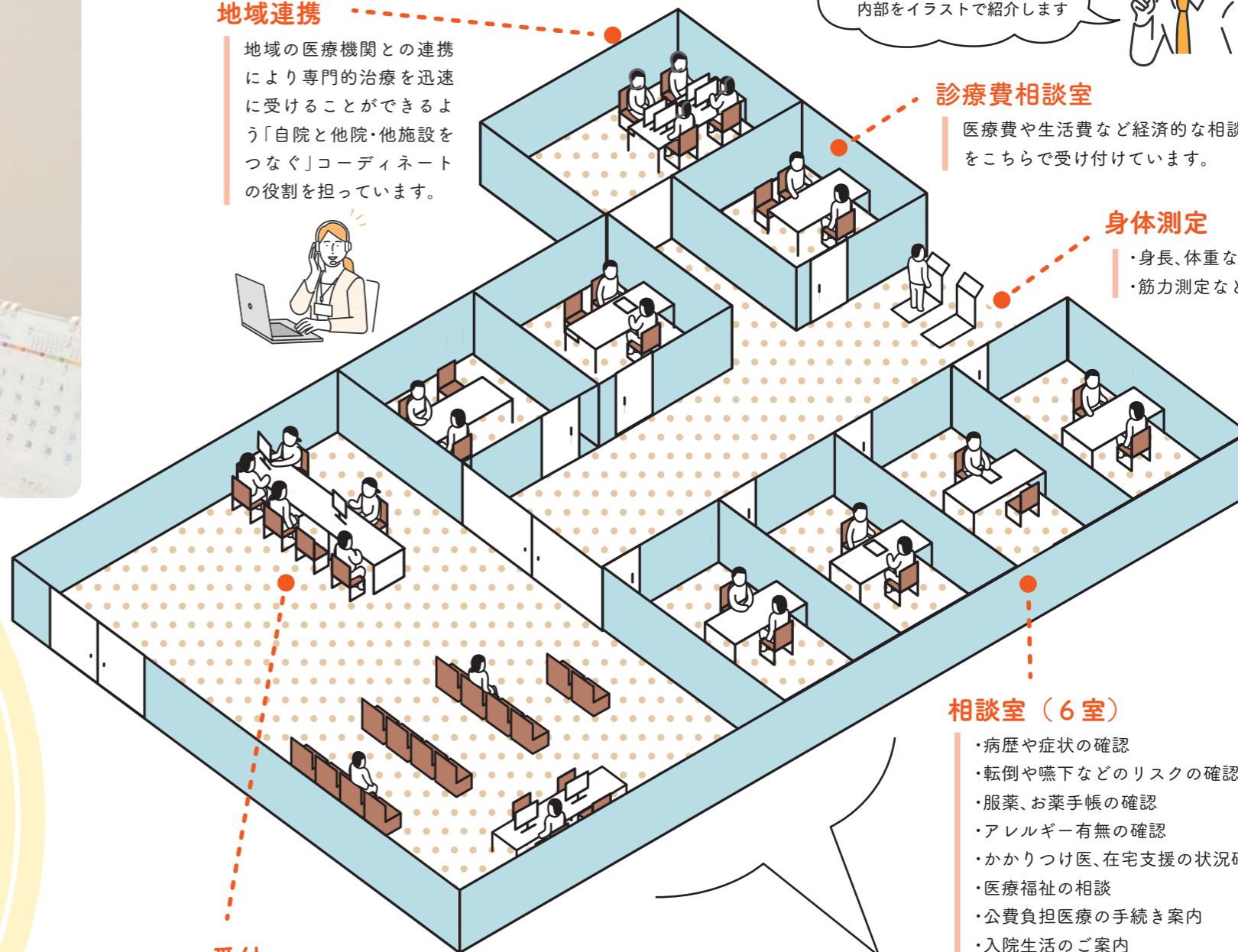
- ・身長、体重など
- ・筋力測定など

### 相談室（6室）

- ・病歴や症状の確認
- ・転倒や嚥下などのリスクの確認
- ・服薬、お薬手帳の確認
- ・アレルギー有無の確認
- ・かかりつけ医、在宅支援の状況確認
- ・医療福祉の相談
- ・公費負担医療の手続き案内
- ・入院生活のご案内
- ・手術の説明 など

### 受付

- ・入院が決定した時の入院前支援の受付
- ・入院当日の手続きの受付
- ・患者相談の窓口



# 入退院支援の流れ

## 1 入院予約が決定した際の手続き

外来で入院の方針が決まったら、「患者総合支援センター」の受付に案内させていただきます。



## 2 多職種による面談

患者総合支援センターの相談室で、看護師が病歴・症状の確認や転倒、嚥下などのリスク評価を行います。また、必要な患者さんについては管理栄養士が栄養相談を行い、薬剤師が薬剤アレルギーや服薬状況を聞き取ります。特に全身麻酔手術には禁煙や呼吸訓練などの方法を説明します。看護師が、入院後の治療の流れや、不安を感じていることをお聞きし、患者さん・ご家族と一緒に考え、必要な支援を開始します。



## 3 多職種による情報共有

看護師のヒアリング結果をもとに、薬剤師、管理栄養士、相談員が連携し、退院後を見据えた対応を協議します。センターと患者さん・ご家族さんの情報を共有して、入院当日から必要な支援を行います。



## 4 入院当日

患者総合支援センターの入口手前の入院受付にて、入院手続きを行います。健康保険証や事前にお渡しした書類などをご提示いただきます。患者総合支援センターでは入院前の健康状態の確認を行い病棟へ案内します。



## 5 入院中

入院中は、医師や看護師をはじめ、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフなどが連携し、治療や生活をサポートします。多職種による「カンファレンス(話し合い)」を行い、患者さんの支援計画を共有し、不安やご希望にきめ細かく対応します。また、転院や在宅介護の準備を進めるため、地域包括支援センターやケアマネージャーとも連携し、住み慣れた環境での生活を支援します。さらに病棟ごとに退院調整看護師がいますので、気軽にご相談ください。

## 6 退院後

退院後も通院が必要な場合や在宅療養が続く場合、医療ソーシャルワーカーや看護師が引き続きサポートします。

### POINT

＼ 離島の患者さんも安心！ ＼

離島からの入院の患者さんには、離島の医療機関と連携し安心して入院できるようリモートで入院前に説明を行っています。

## 私たち専門家が患者さんをサポートします

### 看護師

#### 入院から退院まで安心のサポート

入院生活や治療がどのようにすすめるかイメージしていただけるよう支援しています。患者様やご家族から、入院前の生活背景についてお話を伺い、入院前から退院後の生活への不安が和らぐようサポートしていますので、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。

赤嶺記子

### 薬剤師

#### お薬手帳で安心安全

皆様が使用しているお薬には、手術や検査、治療へ影響を与えてしまうお薬もあります。そのために、お薬をお休みするべきか確認する必要があります。またアレルギー情報や副作用情報、お薬の飲み合わせなど、事前に情報を正しく確認するためにお薬手帳が重要です。病院や薬局へお越しの際はぜひお薬手帳をお忘れずに。

松島亜紀

### 管理栄養士

#### 入院前から退院までの栄養をサポート！

入院・手術に関するお食事への不安を事前に軽減できるよう、栄養相談や入院中の食事内容の調整等、栄養に関するサポートを行っています。現在は食道、胃、膵臓、大腸等の外科手術予定の患者様を中心にサポートしていますが、お食事に関する不安をお持ちの方はぜひお気軽にご相談ください。

東江えみる

### 相談員

#### 医療・福祉制度についてサポート

患者・家族の心に寄り添いながら医療・福祉と連携し、退院後の生活の不安や個々の患者さんに適した制度を見だしサポートします。患者総合支援センター・各病棟相談員へいつでも遠慮なくご相談ください。

西浜未来

# インフルエンザ感染症とその予防策

／ 知っておきたい！ ／  
**感染防止対策室の原國室長に聞いてみよう！**



感染防止対策室室長  
原國政直

## Q インフルエンザの**流行**はどのようになっていますか？

**A** 沖縄県の過去5年シーズンにおける流行状況は、COVID-19が蔓延していた2020年～2022年の期間においてはインフルエンザの流行は確認されていませんでした。しかし、2023年以降は、COVID-19が流行する前と同様に夏に小さな流行、冬に大きな流行を確認するようになりました。逆に新型コロナウイルス感染症は夏に大きな流行、冬に小さな流行をしました。いわゆる、沖縄県では、夏、冬の2峰性の流行が確認されているわけです。そのため、冬だけがインフルエンザの流行と思わず夏場でも注意が必要となってきます。

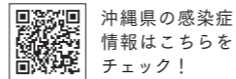


## Q インフルエンザの**特徴**は？

**A** インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。また、普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状もみられます。お子様ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴う等、重症になることがあります。



## Q インフルエンザはどんな**予防**をしたらいい？



沖縄県の感染症情報はこちらをチェック！

**A** 一番は日々の体調管理が重要となります。また、インフルエンザウイルスは汚染した飛沫感染(咳や唾液等)、汚染した手を介した接触感染によって他者へ伝播します。

**感染対策の基本**

手洗い

咳エチケット

三密をさける



## Q インフルエンザ**ワクチン接種**の重要性

**A** インフルエンザウイルスにはさまざまな型(A型、B型等)があり、その年々によって流行の型が変わります。そのため、1度接種したからもう大丈夫では無く、希望者は毎年接種して頂く必要があります。また、夏にインフルエンザに罹患したからワクチン接種は不要では無く(理由は前述のいろいろな型があるため)、できる限り接種を行うことを推奨します。罹患しないのでは無く、罹患したとしても重症化予防につながります。個人で判断するのでは無く、かかりつけ医へ相談することをお勧めします。



# Trick or Treat ハロウィンパーティー

～かわいい仮装と笑顔がいっぱいの1日～



2024年10月30日、もこもこ保育園で楽しいハロウィンパーティーを開催しました！子どもたちはそれぞれ思い思いの仮装を楽しみ、かわいいプリンセスやヒーロー、そしてハロウィンかぼちゃが勢ぞろい。伊志嶺病院長と小祿看護部長たちから手渡されたお菓子里に、みんな大喜びでした。また、歌とダンスの時間では、元気いっぴいの声と笑顔があふれ、大いに盛り上がりました。



先生たちも楽しい仮装で参加し、子どもたちと一緒にパーティーを盛り上げました



楽しさいっぱい！かわいい仮装でハロウィンを満喫



# 全力で楽しんで運動会！笑顔と感動の1日

～みんながいっとうしょう！親子でつなぐ絆～

2024年10月12日、毎年恒例のもこもこ保育園の運動会を開催しました。元気いっぴいのかげっこでは、子どもたちがゴールを目指して力いっぱい走る姿が印象的でした。リレーではチーム一丸となってバトンをつなぎ、応援の音が響き渡りました。親子ダンスや障害物競走では、笑顔と笑い声がいっぱい！時には悔し涙を流す場面もありましたが、最後まで全力で取り組む姿に感動しました。保護者の皆さんと子どもたちが一緒に楽しむ姿に、温かな絆を感じるすてきな1日となりました。



頑張ったみんなにメダルを贈呈！笑顔いっぴい大喜び！

親子で力を合わせた玉入れ！久々の復活に大盛況

# 「うらそえっ子コミュニティフェスタ」参加

未来のフライトナースと  
はいチーズ!

「地域を知り楽しもう!」をコンセプトに、2024年11月9日、浦添小学校で「うらそえっ子コミュニティフェスタ」が開催されました。本イベントは、地域をより深く知り、人々がつながることを目的としており、浦添小学校、自治会、地域の事業所などが活動紹介やレクリエーションを行いました。

浦添総合病院からは、ドクターカーの展示に加え、救急看護師による心臓マッサージおよびAEDの使用法のレクチャーが行われました。さらに、地域包括支援センターさっとなでは、健康相談コーナーや血圧測定ブースを設け、地域の方々との交流を深めました。

マジックショーも  
開催!



## 第5回 マチナト がんじゅう フェア 開催!



2024年10月12日「子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も共に暮らしやすいがんじゅうな地域づくりを目指してみんなで繋がる健康と福祉のフェア」と題して第5回マチナトがんじゅうフェアが開催されました。このイベントは浦添市地域包括支援センターみなとん、コープ牧港、浦添市社会福祉協議会地域保健福祉センター、浦添市障がい福祉関連複合施設ピアラルうらそえ、相談支援事業所ゆんたくの5社で実行委員を構成しています。当日は浦添市長の開会の挨拶からスタートし、健康ブースや地域の活動紹介、福祉体験、子ども達の学習発表などのブースがあり、運営には法人の職員の協力もあって、笑顔あふれる楽しいフェアとなりました。



# 介護老人保健施設 アルカディア

医療と介護のプロが  
チームで支える、  
あなたらしい  
安心の日々。

### 介護老人保健施設とは

介護老人保健施設とは、日常生活に介護を必要とする方を対象に、心身の機能維持・回復を図り、居宅での生活を支援するための施設です。この施設では、施設サービス計画書を作成し、医学的管理のもと、看護・介護・リハビリテーション、日常生活の援助などを提供します。また、利用者の自立を促し、在宅復帰や在宅療養を支援することを目的としています。

### 対象となる方

- ・要介護1以上の認定を受けた方
- ・症状が安定して入院が必要な方

看取り状態である方も  
対応を行っています



### 医師



定期的な診察によって病気の管理を行うほか、入所者の状態が悪化したときには、施設内で可能な範囲の治療も行います。

### 看護師



看護師は医師の指示のもと、利用者に対する日常的な医療行為をし、適切な看護ケアを実施します。

### 薬剤師



お薬を医師と連携しながら処方・管理し適切な薬剤提供を行います。

### リハビリ



リハビリの専門職が、心身機能の維持・回復を目指してリハビリを行います。在宅復帰が目的なので、自宅の住環境と日常生活を想定した実用的な個人に合わせた訓練を受けられます。

### 介護福祉士・ 介護士



移動、食事、入浴など、日常生活の世話を必要に応じて行います。喀痰吸引研修修了した介護職員による喀痰吸引を行う事もあります。

### 管理 栄養士



栄養状態の維持、向上のために食事に関する指導を行います。

### 歯科 衛生士



お口の相談や指導を行い、必要に応じて歯科医と連携し口腔内の清潔保持を行います。

### 介護支援 専門員



その人らしさ、自立支援を大切にしたい計画書の作成を行います。

### 相談員



社会福祉士が利用者・家族の困りごとや相談事を真摯に受け止め、対応します。

### 在宅復帰後も安心! 多彩なサービスで支える充実のサポート体制

80床のベッド数の内2床はショートステイベッドとして運営している他、在宅総合センター内には居宅介護支援事業所・通所リハビリテーション・訪問リハビリ・訪問介護・訪問看護等のさまざまな事業所があるので、在宅復帰した後の生活も継続して支援できるようにしています。各専門職が一丸となって利用者の生活を支援しています。



介護老人保健施設 アルカディア TEL:098-879-1000

# 浦添総合病院では 2人主治医制 を推進しています

「2人主治医制」とは、ひとりの患者さんに対し、当病院の医師と地域のかかりつけ医が連携し、共同で継続的な治療を行うことです。紹介状を通して、患者さんの診察状況を共有します。

## 浦添総合病院



主治医

節目の治療

専門的な検査や治療が必要な時

紹介

連携

逆紹介

症状が安定した時

## かかりつけ医



主治医

日頃の管理

## 連携医療機関のご案内

当院では、地域のかかりつけ医である連携医療機関の先生方と共同して、切れ目のない医療の提供を目指しています。今回は沖縄県内各地の連携医療機関の中から「いすのき内科」をご紹介します。

## いすのき内科

TEL:098-894-1000 FAX:098-894-4739

〒901-2202 宜野湾市普天間2丁目4-5

《診療科目》 総合内科、糖尿病専門

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:30~11:30	○	○	○	/	○	○	/
午後の部 13:30~16:30	○	○	○	/	○	○	/

休診日:木曜・日曜・祝日

外観



案内図



宜野湾市普天間で地域医療を担ってきた「よなみね内科」を継承し、2024年3月1日に「いすのき内科」を開院しました。糖尿病や甲状腺など内分泌疾患を専門としつつ、内科全般を幅広く診療しています。糖尿病は食事療法からインスリン導入・ポンプまで対応しております。



院長 難波豊隆先生

当院では、地域医療支援病院としての機能やサービス内容、特色などを地域へ発信し、各連携医療機関とのシステムづくりを行っています。

連携医療機関はこちらからご覧ください



2024年11月16日、第31回日本航空医療学会にて市民公開フォーラムが行われ、「県域や機関の壁を越え、南西諸島を一つのエリアとしてシームレスに支えられる航空医療体制の構築」をテーマに各登壇者による発表が行われました。航空医療の現場での課題や解決策、離島地域特有の医療ニーズに応じた連携体制の構築について、多角的な視点からの講演が行われました。住民を含む多くの参加者が熱心に耳を傾け、航空医療の新たな展望を共有する場となりました。

## NAHAMARASON PUSH講習会開催!



2024年11月30日、NAHAMARASONのランナーを対象にPUSHコース講習会が開催され、約130名が参加しました。当院の救急救命士が講師を務めたこの講習会は、「誰でも」「楽しく」「気軽に」受講できる心肺蘇生講習で、心肺蘇生法(胸骨圧迫)とAED(自動体外式除細動器)の使用方法を学ぶ教育プログラムです。講習会中には積極的な質問が飛び交い、参加者は熱心に受講していました。



今回は伊祖自治会の取り組みを紹介

## 伊祖自治会

### 自治会の活動



会長 銘苅 良二

- 4月 神ウシーミー (晴明祭)
- 5月 クリーンデイうらそえ
- 7月 夏休み体操
- 10月 英祖まつり
- 12月 CGG 運動
- 2月 伊祖大綱引き



伝統の伊祖大綱つくり



祭りだワッショイ!



観月会(長寿クラブ)



ゲートボールで健康づくり

### 自治会の特徴

当自治会は都市化に伴い、昔の面影を多少残しながら農村地域から近代的な街並みに変貌してきました。現在では、外部からの人口流入で社会環境も変化し地域コミュニティのありさまを模索しながら魅力ある活動を推進し活性化を図っています。

### 地域の歴史・文化

伊祖グスクは、英祖王の生誕地ということもあり沖縄の方々から訪れます。また、地域には歴史上有名な井戸や古民家が現存する地となっており、歴史遺産をまちづくりにいかし「年中行事」はじめ「伊祖大綱引き」や「英祖まつり」の継承を目指しています。

### 健康づくりの取り組み

高齢者は、いきいき健康教室や室内レクリエーションをはじめ週2回のグラウンドゴルフ等に汗を流しています。子ども達は、夏休みに一堂に会してコミュニケーションをとりながら生活リズムの確立を目指しています。





仁愛会の理念

- 地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉
- 信頼と人間性豊かな保健・医療・福祉
- 働き甲斐のある職場
- 仁愛会の職員であることが誇れる企業



浦添総合病院

〒901-2102 浦添市前田一丁目56番1号

TEL:050-1721-8524 (AI予約)

TEL:0120-979-706 (予約センター)

TEL:098-878-0231 (代表)

● つるかめ訪問看護ステーション

TEL:098-877-0645



浦添総合病院健診センター

〒901-2132 浦添市伊祖三丁目42番15号

TEL:0570-010-986



在宅総合センター

〒901-2132 浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL:098-879-1000 (代表)

- 介護老人保健施設アルカディア
- 訪問リハビリテーションアルカディア  
TEL:098-879-1000  
(上記2事業所共通)
- アルカディア通所リハビリテーション  
TEL:098-878-1675
- ヘルパーステーションらくだ  
TEL:098-870-1026
- 浦添市地域包括支援センターみなとん  
TEL:098-876-3710
- 浦添市地域包括支援センターさっとん  
TEL:098-877-3103
- ことぶき指定居宅介護支援事業所  
TEL:098-875-4165

- 浦添市事業所内保育事業認可保育園 もこもこ保育園 TEL:098-875-7171

